

## 第6回 NPO 法人ウッドデッキ (WD) 理事会

### 議事次第

日時：2024年4月26日(金) 16:00-17:00

方法：Zoomによるオンライン

- 議案：
- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. 前回議事録報告                 | 資料1、資料2 |
| 2. 2023年度決算報告              | 資料3     |
| 3. 監査報告                    | 資料4     |
| 4. 2023年度アニュアルレポート案の検討     | 資料5     |
| 5. 2024年度担当                | 資料6     |
| 6. ウッドデッキ賞選考プロセスの確認        | 資料7     |
| 6. ウッドデッキ賞賞状文案とトロフィー表記について | 資料8     |
| 7. その他                     |         |
- (1) 総会(対面)@日大(市ヶ谷)(P)  
5/23(木) 15:00-の予定
- (2) シンポジウム@横浜市立大学  
11/16(土) AMは何か企画、PMにシンポジウム  
※ 11/15(金)夜懇親会、11/17(日)朝解散

第 5 回 NPO 法人ウッドデッキ (WD) 理事会  
議事録

1. 開催日時：2024 年 3 月 15 日 (金) 17:00-18:00

2. 開催方法：Zoom によるオンライン

3. 出席者の数：6 名 (参加対象者 6 名)

実参加：4 名 渡辺 (代表理事・議長)、カセム (理事)、山極 (理事)、  
秋山 (監事)

委任状：ヴィーヴォレック (理事)、濱口 (理事)

4. 議案：

第 1 号議案 前回議事録報告

第 2 号議案 新規賛助会員の承認

第 3 号議案 法人貢献表彰について

第 4 号議案 来年度の理事

第 5 号議案 その他

5. 議事の経過の概要及び議決結果

第 1 号議案 前回議事録報告

議長は、前回議事録について報告し、これが確認された。

第 2 号議案 新規賛助会員の承認

議長は、住友重機械工業株式会社の賛助会員希望について説明し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第 3 号議案 法人貢献表彰について

議長は、法人貢献表彰について推薦された候補者と推薦理由をもとに審議し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

受賞者と授賞理由は次の通り。

2023 年度：森田純恵

受賞理由：第 2 回シンポジウムの企画から実施運営、報告書作成に至るまで責任を持って行い、シンポジウムを成功に導いた。さらに、シンポジウムでの議論を秋田地域の学生に向けた活動に展開している。

2022年度：辻明子

受賞理由：ウッドデッキの設立初年度に、会計など困難な事務業務を一手に引き受け、緻密かつ正確に責任を持って成し遂げ、ウッドデッキ設立の成功に大きく貢献した。

第4号議案 来年度の理事

議長は、来年度の役員体制（現在の理事5人、監事を1人、任期2年）について説明し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第5号議案 その他

議長は、「議事録作成のため、今後の理事会では毎回録画を行う」という提案について説明し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

議長は、今後の予定について報告し、これが確認された。

以上

2024年3月25日

議長

渡辺美代子

議事録署名人

山形 新一

議事録署名人

秋山 咲也

第 5 回 NPO 法人ウッドデッキ (WD) 理事会  
議事要旨 (案)

1. 開催日時：2024 年 3 月 15 日 (金) 17:00-18:00

2. 開催方法：Zoom によるオンライン

3. 出席者の数：6 名 (参加対象者 6 名)

実参加：4 名 渡辺 (代表理事・議長)、カセム (理事)、山極 (理事)、  
秋山 (監事)

委任状：ヴィーヴォレック (理事)、濱口 (理事)

4. 議案：

第 1 号議案 前回議事録報告

第 2 号議案 新規賛助会員の承認

第 3 号議案 法人貢献表彰について

第 4 号議案 来年度の理事

第 5 号議案 その他

5. 議事の経過の概要及び議決結果

第 1 号議案 前回議事録報告

議長は、前回議事録について報告し、これが確認された。

第 2 号議案 新規賛助会員の承認

議長は、住友重機械工業株式会社の賛助会員希望について説明し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

第 3 号議案 法人貢献表彰について

議長は、法人貢献表彰について推薦された候補者と推薦理由をもとに審議し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

受賞者と授賞理由は次の通り。

2023 年度：森田純恵

受賞理由：第 2 回シンポジウムの企画から実施運営、報告書作成に至るまで責任を持って行い、シンポジウムを成功に導いた。さらに、シンポジウムでの議論を秋田地域の学生に向けた活動に展開している。

2022 年度：辻明子

受賞理由：ウッドデッキの設立初年度に、会計など困難な事務業務を一手に引き受け、緻密かつ正確に責任を持って成し遂げ、ウッドデッキ設立の成功に大きく貢献した。

#### 第4号議案 来年度の理事

議長は、来年度の役員体制（現在の理事5人、監事を1人、任期2年）について説明し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

#### 第5号議案 その他

議長は、「議事録作成のため、今後の理事会では毎回録画を行う」という提案について説明し、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

議長は、今後の予定について報告し、これが確認された。

その他に、意見交換を行った。主な発言は次の通り。

（賛助会員に関して）

- ・今後賛助会員がどう増えていくか。種類別の役割、会員の資格・権利を一度議論した方がよい。
- ・このウッドデッキという組織は、スモールスタートで、活動をきちんと行えば、それに連動して認知度が上がっていくだろう。事業をモニターし評価して社会に還元していくことが大切である。約束した活動を丁寧に行い社会に還元していくことが大切で、それを忘れずに実施すれば、新たな機会が生まれる団体だろう。

（法人表彰に関して）

- ・今回の受賞（会員の受賞）には副賞はなしとする。
- ・今後はウッドデッキ活動を通して育った若手を表彰することを検討する。

（役員等の体制に関して）

- ・会員から、監事に弁護士・会計士を入れてはという意見があった。
- ・ウッドデッキの予算の規模、活動の広がりにより、理事・監事の仕事の負担は変わってくるだろう。今の規模・内容であれば、大きな問題はないだろう。ただ、活動が広がっていったときには、専門の方に入っていただいた方がよい。良い方がいれば、ご推薦いただいたらよい。
- ・会員区分及び財源については、どういう構成なら、リライアブルなのか検討する必要がある。賛助寄付が増えた時に、自立性を保つことが大切。フレームを作って、成長する中で行動指針を作ってビッグピクチャーを作るということが大切である。それに基づくウッドデッキのガバナンス体制の議論が大切で、今の体制のままどこまでいけるか考え

る必要がある。無理に拡大する必要はないが、「どうすると効率的なのか」は検討しなくてはならない。ウッドデッキのような、「Z世代を応援するトランスジェネレーションの団体」は今後、伸びる余地がある。ビジョンドキュメント（必ずしも達成しなくてもよいもの）を作った方がよい。それに基づいてどう人的・金銭的資源を配置するか検討する必要がある。

- ・もし、財団法人化を目指すなら、ミッションステートメントが必要。そこでお金がどうつかわれているかということが問題となる。総会が決めてくこととなる。会員が増えていけば乗っ取られる可能性がある。総会をどう構成するか。総会決議事項がどこまで通用するか。
- ・財団法人は、「大きな資金を元手にして始める場合」、学会のように「会費を会員が抽出して運営する場合」など、いろいろなタイプがある。事例を探って、たたき台を作った方がいい。

→立ち上げ2年がやっと経過した。将来計画を考えていく時期である。たたき台とともに、議論する機会を持つ。

以上

# 決算報告書

## 第 2期

自 令和5年 4月 1日

至 令和6年 3月31日

特定非営利活動法人 ウッドデッキ

神奈川県横浜市栄区本郷台 2丁目 2 5 番 1 1

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人 ウッドデッキ

自 令和5年 4月 1日 至 令和6年 3月31日

<b>【経常収益】</b>			
<b>【受取寄付金】</b>			
受取寄付金	2,000,000		
<b>【その他収益】</b>			
受取利息	3		
経常収益計	3		2,000,003
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
業務委託費	715,000		
諸謝金	83,308		
印刷製本費(事業)	99,836		
会議費(事業)	117,560		
旅費交通費(事業)	433,790		
広告宣伝費(事業)	6,930		
接待交際費(事業)	93,416		
支払手数料(事業)	4,950		
その他経費計	1,554,790		
事業費計	1,554,790		
<b>【管理費】</b>			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
印刷製本費	19,855		
会議費	36,300		
旅費交通費	1,820		
通信運搬費	22,110		
消耗品費	23,760		
広告宣伝費	6,930		
支払手数料	605		
その他経費計	111,380		
管理費計	111,380		
経常費用計	111,380		1,666,170
当期経常増減額			333,833
<b>【経常外収益】</b>			
経常外収益計			0
<b>【経常外費用】</b>			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			333,833
当期正味財産増減額			333,833
前期繰越正味財産額			49,935
次期繰越正味財産額			383,768



# 貸借対照表

特定非営利活動法人 ウッドデッキ

[税込] (単位: 円)  
令和6年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
当座 預金		3	
普通 預金		383,765	
現金・預金 計		<u>383,768</u>	
流動資産合計			<u>383,768</u>
資産合計			<u><u>383,768</u></u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
流動負債合計			<u>0</u>
負債合計			0
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		49,935	
当期正味財産増減額		333,833	
正味財産合計		<u>383,768</u>	
負債及び正味財産合計			<u><u>383,768</u></u>

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人 ウッドデッキ

令和6年 3月31日 現在

### 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

### 【会計方針の変更】

特になし

### 【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

〔税込〕（単位：円）

科目	全事業所	合計
(人件費)		
人件費計	0	0
(その他経費)		
業務委託費	715,000	715,000
諸謝金	83,308	83,308
印刷製本費(事業)	99,836	99,836
会議費(事業)	117,560	117,560
旅費交通費(事業)	433,790	433,790
広告宣伝費(事業)	6,930	6,930
接待交際費(事業)	93,416	93,416
支払手数料(事業)	4,950	4,950
その他経費計	1,554,790	1,554,790
合計	1,554,790	1,554,790

### 【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

特になし

〔税込〕（単位：円）

内容	金額	算定方法

### 【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

特になし

〔税込〕（単位：円）

内容	金額	算定方法

### 【使途等が制約された寄付等の内訳】

特になし（使途等が制約された寄付なし）

〔税込〕（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計					

### 【固定資産の増減内訳】

特になし（固定資産なし）

〔税込〕（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
合計						

### 【借入金の増減内訳】

特になし（借入金なし）

[税込] (単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

【役員及びその近親者との取引の内容】

特になし (役員及びその近親者との取引はなし)

[税込] (単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び実親縁者等との取引
(活動計算書)			
活動計算書計			

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人 ウッドデッキ

[税込] (単位: 円)  
令和6年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
当座 預金	3		
普通 預金	<u>383,765</u>		
現金・預金 計	<u>383,768</u>		
流動資産合計		<u>383,768</u>	
資産合計			<u>383,768</u>
	《負債の部》		
【流動負債】			
流動負債合計		<u>0</u>	
負債合計			<u>0</u>
正味財産			<u><u>383,768</u></u>

# 損 益 計 算 書

特定非営利活動法人 ウッドデッキ

[税込] (単位: 円)


自 令和5年 4月 1日 至 令和6年 3月31日

<b>【経常収益】</b>		
<b>【受取寄付金】</b>		
受取寄付金	2,000,000	
<b>【その他収益】</b>		
受取利息	3	
経常収益計	3	2,000,003
<b>【経常費用】</b>		
<b>【事業費】</b>		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
業務委託費	715,000	
諸謝金	83,308	
印刷製本費(事業)	99,836	
会議費(事業)	117,560	
旅費交通費(事業)	433,790	
広告宣伝費(事業)	6,930	
接待交際費(事業)	93,416	
支払手数料(事業)	4,950	
その他経費計	1,554,790	
事業費計	1,554,790	1,554,790
<b>【管理費】</b>		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
印刷製本費	19,855	
会議費	36,300	
旅費交通費	1,820	
通信運搬費	22,110	
消耗品費	23,760	
広告宣伝費	6,930	
支払手数料	605	
その他経費計	111,380	
管理費計	111,380	111,380
経常費用計	1,666,170	1,666,170
当期経常増減額	333,833	333,833
<b>【経常外収益】</b>		
経常外収益計		0
<b>【経常外費用】</b>		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		333,833
当期正味財産増減額		333,833
前期繰越正味財産額		49,935
次期繰越正味財産額		383,768

## 監査報告書

特定非営利活動法人ウッドデッキ  
代表理事 渡辺 美代子 殿

2024年4月24日（監査報告書作成日）

特定非営利活動法人ウッドデッキ  
監事 秋山 咲恵 

私は監事として、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

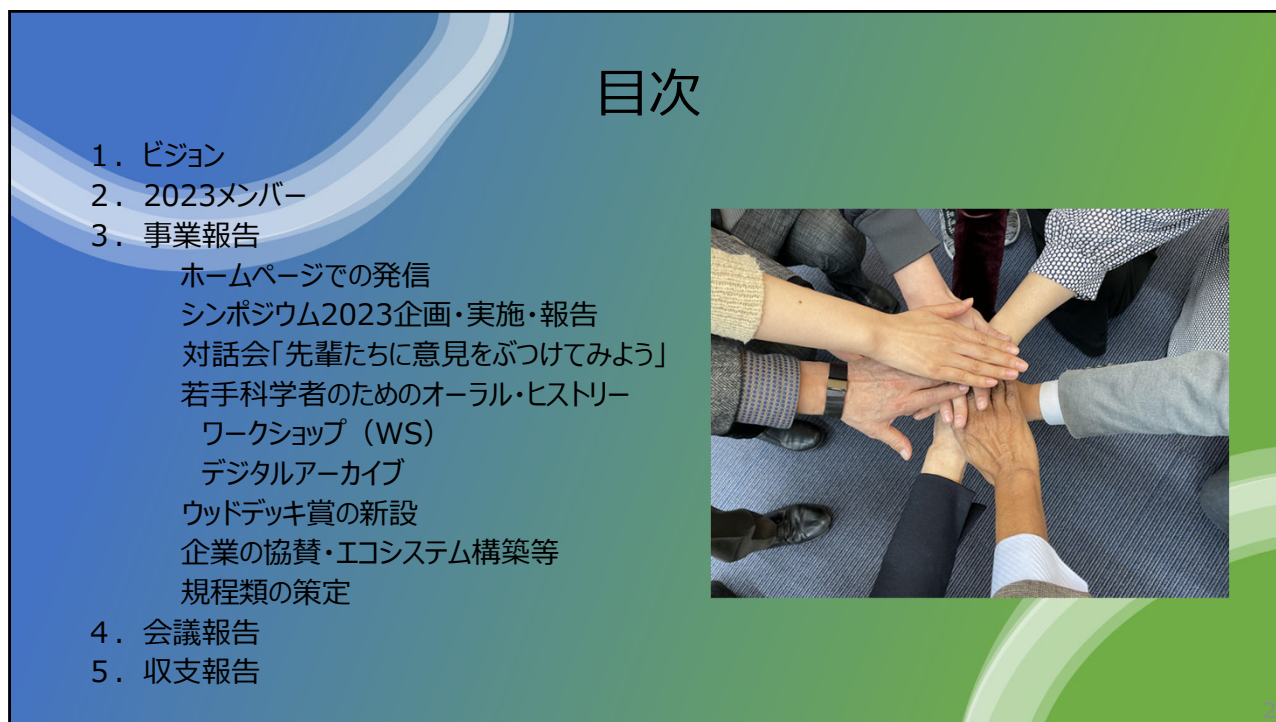
#### (1)事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実  
は認められません。

#### (2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上



## 1. ビジョン

今、日本社会が直面している課題は山のようにあり、  
それらは時代の転換点特有のものばかりです。

これからは、地球環境を守り、今あるものを大切に、  
人々が幸せに生きていくための新しい方法が求められます。

そこには、新しい学際的で総合的な科学の力、  
社会の課題を当事者として受け止める科学者の力が必要です。  
変化を起こすのは、未来に責任を持つ若い科学者です。

若い科学者が様々な世代の科学者や市民と語り合い、  
新たな未来への道筋をつくるために、  
私たちWood Deck (ウッドデッキ)は多くの人が安心して自由に、  
そして科学的に議論する場を提供します。

3

## 2. 2023メンバー

代表理事  
渡辺美代子



理事  
濱口道成



理事  
山極壽一



理事  
CASSIM Monte



理事  
WIECZOREK Iris



監事  
秋山咲恵



4



<p>事務局ディレクター 辻明子</p>		<p>シンポジウムディレクター 森田純恵</p>	
<p>企画広報マネージャー 石塚真由美</p>		<p>シンポジウムマネージャー 井関祥子</p>	
<p>企画広報マネージャー 相京祐飛</p>		<p>シンポジウムマネージャー 鹿野豊</p>	

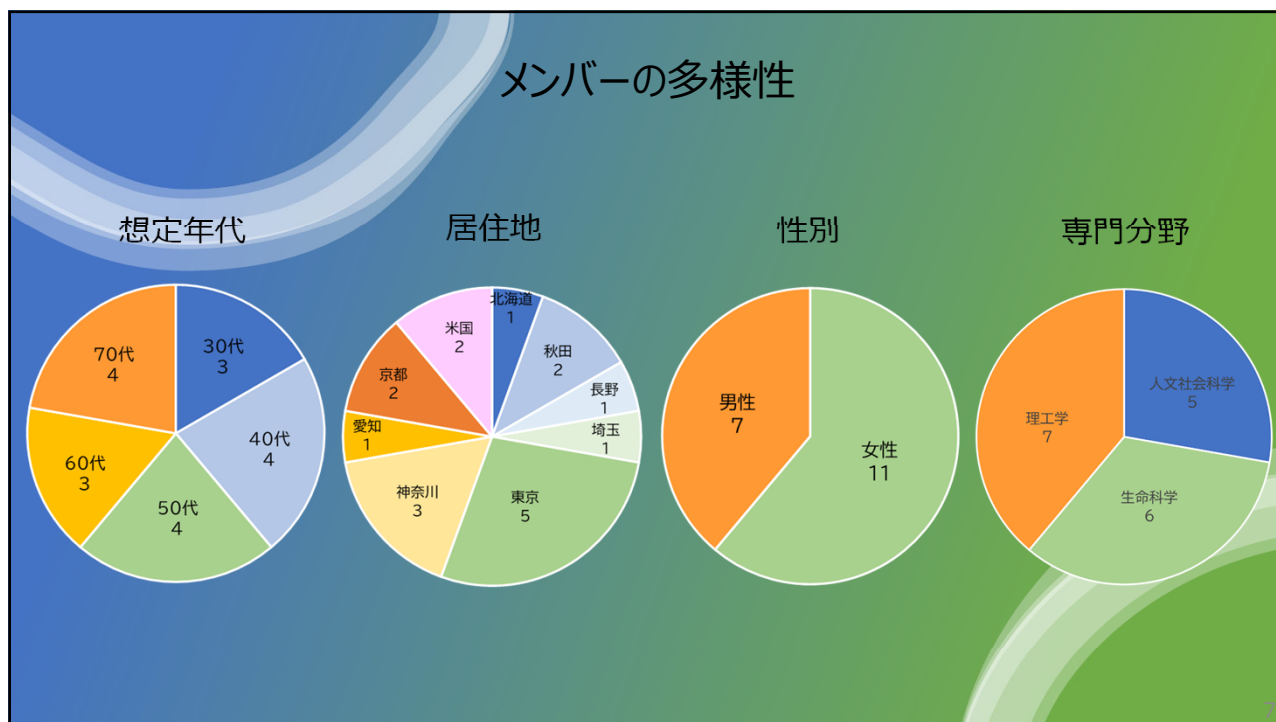
5

<p>ワークショップマネージャー 安田仁奈</p>		<p>プロジェクトマネージャー 近藤誠一</p>	
<p>ワークショップマネージャー 高瀬堅吉</p>		<p>プロジェクトマネージャー 寺本華奈江</p>	
<p>企業パートナーマネージャー 小浦節子</p>		<p>プロジェクトマネージャー 塩田佳代子</p>	

賛助会員  
住友重機械工業（株）

 **住友重機械**

6



## 3. 事業報告

### 総会の実施・報告

2023年5月25日（木） 15:00-17:00に日本大学会館202会議室で総会を実施  
17名の参加（会場参加10名、オンライン参加3名、委任状4名）で議論

- 第1号議案 メンバー自己紹介、議長を選任
- 第2号議案 2022 年度活動報告
- 第3号議案 2023 年度活動計画
- 第4号議案 意見交換
- 第5号議案 写真撮影

上記を審議し、承認  
その結果をホームページで公開





### シンポジウム2023（第2回）を国立教養大学（AIU）との 共催でハイブリッド形式にて開催（2023/11/1）

参加は会場で85名、オンラインで70名（30分以上参加）、合計155名

秋田の未来を担う文化・芸術、森林、一次産業、ものづくりなど様々な分野で活躍されている方々が登壇、シンポジウムでは「不易流行」をテーマに秋田から世界への挑戦について若者にむけたメッセージを発信し、さらに討議

本シンポジウムは若い研究者・学生にも聴いてほしいという思いで企画  
学生の参加率は全体の 25%

総合力を養うことが必要、そのためには経験も必要、シニア世代は自身の経験をわかりやすく説明し、若手研究者は直接的な効果や効率重視の考えから一歩離れ、経験から得られる様々な要素を体験することが大切と議論




### ホームページでの報告

News & Topics

第2回シンポジウムを盛会のうちに終了しました。

第2回シンポジウムを11月1日に開催し、155名の方々にご参加をいただきました。多くの方にご参加いただきましたこと、心から御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

**Wood Deck**  
NPO法人ウッドデッキシンポジウム 2023  
2023 11.1 WED  
13:00-16:30  
会場：国際教養大学コベルコホール+オンライン視聴  
未来の仕事/秋田に学ぶ 過去～現在～未来

### 第二回シンポジウム

テーマ： 未来の仕事「秋田に学ぶ過去～現在～未来」  
日時：2023年11月1日（水）13:00-16:30  
場所：国際教養大学コベルコホール+オンライン視聴

[シンポジウム2023報告書](#)

### 神奈川新聞に紹介記事

横浜のNPO法人が秋田でシンポ 「未来の技術者育て、地域を元気に」

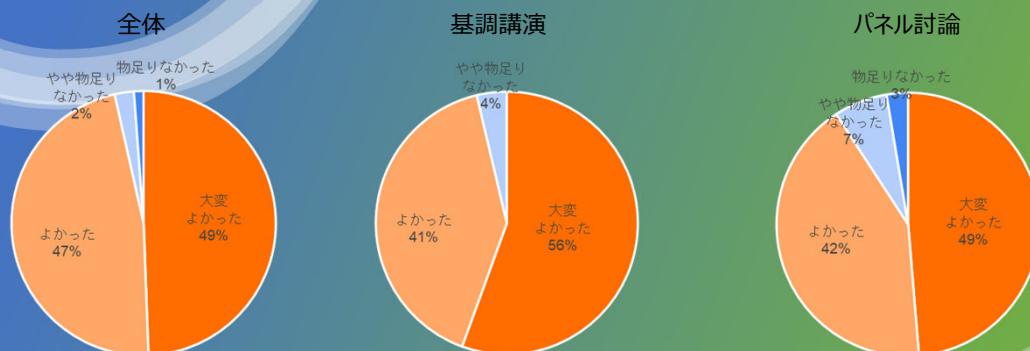
地域活性化 | シンポジウム

横浜・行政 | 神奈川新聞 | 2023年11月1日(水) 20:55

日本学術会議副会長などを歴任した半導体研究の第一人者・渡辺美代子さん＝横浜市栄区在住＝が設立したNPO法人「ウッドデッキ」の第2回シンポジウムが1日、秋田市の国際教養大学で開かれ、約150人（リモート含む）が参加した。…



## シンポジウム参加者アンケート結果（回答：85）



## 自由記述例

- ・秋田は国際的で新しい。秋田の方は朴訥だけど信頼できると思った。その良さを失わずに、世界にチャレンジして頂きたい。
- ・秋田に俄然興味が湧きました！
- ・秋田県の学生がとても勇気をもらえる会だと思いました。
- ・地元で取組んでいる事業に大変熱い思いをもった方の基調講演と、幅広い視野のパネル討論で大変勉強になった。
- ・基調講演のみ、英語の授業の30分を使用して学生50名とともにZoomにて拝聴した。

## 対話会「先輩たちに意見をぶつけてみよう」

シンポジウム当日の午前中に現地参加の学生等若手を対象に、シンポジウムに先立って対話型企画を開催

NPO法人 ウッドデッキ主催  
「先輩たちに自分たちの意見をぶつけてみよう」

日時：2023年11月1日（水）10:00 - 11:30  
場所：国際教養大学 新講義棟(D棟)

NPO法人 ウッドデッキは「若い科学者が様々な世代の科学者や市民と語り合い、新たな未来への道筋をつくるために、多くの人が安心して自由に、そして科学的に議論する場を提供する」ことを趣旨に活動しています。その活動の一環として、若い科学者・大学生の皆さんが人生の先輩たちに直接、自分自身の意見をぶつける場を設定しました。是非、気楽にいらして、皆さんの声を聞かせてください。

参加登録



秋田の学生たち約30名とシニアが自由に発言ができるよう、トークテーマを設けず、3グループに分かれ対話、その対話の中で「秋田の発展に向けてどのような取り組みができるか」、「AIと人間の違い」、「科学と技術の定義」など、さまざまな話題が各グループで展開された



## 若手科学者のためのオーラル・ヒストリー・WS

産官学民の各セクターで活躍する経験豊富な講演者を招き、若手科学者に向けてキャリア形成のヒントとなる話をもとに議論するWSを企画して第1回を開催

参加：12名 内学生を含む若手研究者：7名、中堅研究者：3名、講演者：2名

対話セッションでは、参加者全員で講演内容の振り返りと意見交換、参加者が現況を共有し、講演者に質問を寄せる形で進行、全体を通じて参加者はキャリア形成における様々なアプローチについて深く理解を深める機会を得た

今後も、少人数制を維持しつつ、参加者のバックグラウンドや関心事に合わせた企画を設計し、個々のニーズに応えることが重要、ウッドデッキの活動目的を達成するのに適したものであることが共有された

### 参加者意見

●熱量のある言葉やこれまでの経験談からのアドバイスが心に刺さり、もう序盤から目頭が熱くなってきてしまっ…  
本当にありがとうございました。しばらく消えていた前向きな気持ちが湧いてきた感覚があり、自分でも驚いています。



第1回 ウッドデッキ若手  
企画ワークショップ

### 若手科学者のための オーラル・ヒストリー

■開催日：2024年2月7日（水）15時から  
■開催場所：オンライン

開催趣旨  
このたび、第1回若手企画ワークショップ「若手科学者のためのオーラル・ヒストリー」を2024年2月7日（水）にオンラインで開催させていただきました。『若手科学者のためのオーラル・ヒストリー』では、若手研究者がキャリアパスを進むにあたり、人や社会との関係性の中で培ってきた大切な知識やスキルの獲得をテーマとし、産官学民の各セクターで活躍する方たちを招き出して、これまでのキャリアパスについてご講演頂きます。ご講演で語られるオーラル・ヒストリー (oral history) では、若手科学者が学会や論文、書籍等では学ぶことができない「キャリア形成のヒント」をお話いただくと考えております。  
主催である特定非営利活動法人ウッドデッキは、若い科学者が様々な世帯の科学者や市民と語り合い、新たな未来に向けた方を構築するために、安心感と自由な雰囲気がある新たな科学者に議論する場を提供することを使命としています。つきましては、第1回ウッドデッキ若手企画ワークショップの運営にご賛同いただき、皆様のご協力を賜りたく是非ともお願い申し上げます。

プログラム  
15:00-15:05 趣旨説明 安田仁奈 (東京大学教授)  
15:05-15:45 講演 司会 安田仁奈  
●渡辺美代子 (ウッドデッキ代表理事・日本大学常務理事)  
「産官学の経験から見える未来への準備」  
●杉山啓幸 (ウッドデッキ代表理事)  
株式会社サキコーポレーション 創業者  
「前例のないキャリアを構築するの必要だったこと」  
15:45-16:45 対話  
16:45-16:55 対話のまとめと講演者へのフィードバック  
高瀬聖言 (中央大学教授)  
16:55-17:00 閉会の挨拶 熊野登 (群馬大学准教授)

問い合わせ先：27yasuda@ecc.u-tokyo.ac.jp (安田仁奈)  
主催：NPO法人 ウッドデッキ <http://www.wooddeck.org>

15

## 若手科学者のためのオーラルヒストリーデジタルアーカイブ ～次世代に残すメッセージ～

2024年3月6日（水）11:00-15:00

学士会館にて2名のインタビューを実施

産官学民の各セクターで活躍する経験豊富な科学者の

- 1) 生い立ち
- 2) 学術的取り組み
- 3) 本人が直面した課題

についてインタビューを行い、映像資料を制作  
この制作を通じて、従来のアカデミアでは継承することが困難であった先人の知の世代間伝承を推進  
若手科学者が自分の人生にどのように向き合い、  
どのように未来を切り拓いていくかの洞察を得る契機とする狙い



16

## ウッドデッキ賞の新設

ウッドデッキに貢献した者にウッドデッキ賞（Wood Deck Award）として表彰することを第4回理事会で決定

会員に推薦を依頼し、その結果を第5回理事会で審議し、決定

2022年度の活動に対して1名

2023年度の活動に対して1名

17

## 企業の協賛・エコシステム構築



「科学の力で未来をもっと豊かに」のビジョンを掲げる日本電子株式会社に設立当初から協賛いただいております

今年度は、サステナビリティ憲章に「事業を通じた社会課題の解決」と「社会の一員としての責任ある活動」を掲げる株式会社島津製作所に協賛いただきました

今後協賛いただく企業を選定し、ウッドデッキの活動を広報し、協賛を募る予定

18

## 規程類の策定

### 3つの規程を策定

規程第二号 入会及び大会規程  
規程第三号 寄付金取り扱規程  
規程第四号 表彰規程

第4回理事会（2022/11/1）にて了承  
上記3規程

特定非営利活動法人ウッドデッキ 入会及び退会規程 規程第2号	特定非営利活動法人ウッドデッキ 寄付金取扱規程 規程第3号	特定非営利活動法人ウッドデッキ 法人貢献表彰規程 規程第4号
<p>(目的) 第1条 この規程は、特 第6条から第12条に定 項を定めることを目的と す。</p> <p>(入会の手続き) 第2条 当法人の正会員 める入会申込書（別紙 ）を提出する。</p> <p>(入会資格審査基準) 第3条 当法人の正会員 の要件も満たす必要が あるものとする。 (1) 入会申込書に不実 (2) 入会申込書及び附 属書類に虚偽の記載が あること。</p> <p>2 代表理事は、理事会 の承認を得て、理事 の承認を得る。</p> <p>(会員の権利の発生) 第4条 会員の権利は、手 を経て入金及び会費の 納入完了後、発生する。</p> <p>(会員名簿) 第5条 入会を承認され た会員は、会員名簿の記 載事項を記載する。</p> <p>(退会) 第6条 定款第10条に 規定する退会事由に 該当する場合は、理事 会の承認を得て、退 会の手続きを行う。</p>	<p>(目的) 第1条 この規程は、特 定非営利活動法人ウッド デッキの寄付金に關し、必要 事項を定めることを目的と す。</p> <p>(定義等) 第2条 この規程におい て、 (1) 一般寄付金 個人ま たは法人から出資する 寄付金 (2) 指定寄付金 広く一 般に募集する寄付金 を指す。</p> <p>(一般寄付金の募集及び 受取) 第3条 当法人は、常時一 般に募集する寄付金を 受取るものとする。 2 一般寄付金は、定款 第10条第2項に規定す る範囲内において、理 事会の承認を得て、募 集する。</p> <p>(指定寄付金の募集及び 受取) 第4条 指定寄付金を募 集する場合は、定款第 10条第3項に規定す る範囲内において、理 事会の承認を得て、募 集する。 2 指定寄付金は、定款 第10条第3項に規定 する範囲内において、理 事会の承認を得て、募 集する。</p> <p>(受け入れ制限) 第5条 当法人は、寄附 金の受け入れに、寄附 者の氏名、住所、年齢 (1) 法律に抵触する こと</p>	<p>(目的) 第1条 この規程は、特 定非営利活動法人ウッド デッキ（以下「当法人」と いう。）が当法人に 貢献した者にウッドデ ッキ賞（Wood Deck Award）として表彰す ることを目的とする。</p> <p>(対象) 第2条 本表彰は、前 年度の当法人に最も貢 献した会員及び会員 外の者を対象とする。</p> <p>(受賞候補者の募集) 第3条 本表彰の受賞 候補者は、当法人の会 員が推薦することが可 し、対象となる者につ いて毎年募集する。</p> <p>(選考基準) 第4条 第1条の目的に 基づき、以下のいずれ か該当する者を選考 する。 ア. 前年度の当法人の 事業に最も貢献した 者 イ. 前年度の当法人の 管理に最も貢献した 者</p> <p>(選考方法) 第5条 本表彰の選考 は理事会にて行う。</p> <p>(受賞者の決定) 第6条 受賞者は、理 事会の審議を経て、理 事会が決定する。</p> <p>(表彰) 第7条 本表彰式は理 事会において実施す る。本表彰の受賞者 には、表彰状と表彰 トロフィーを授け、 謝辞を授け得る。</p>

19

## 4. 会議報告

### 総会

開催日時：2023/5/25（木）15:00–17:00  
会場：日本大学会館202号室 およびzoomによるハイブリッド  
出席：17名（うち会場参加：10名、zoom参加：3名、委任状：4名）  
議事および議決結果：2022年度活動報告と2023年度活動計画等

### 理事会

第3回 開催日時：2023/5/9（火）15:30–16:30 会場：zoomによるオンライン会議  
出席：5名（うち実参加(zoom)：5名）  
議事：2022年度活動報告、新入会員、スポンサー等

第4回 開催日時：2023/11/1（水）12:00–13:40 会場：国際教養大学会議室  
出席：5名（うち実参加(会場)：4名、委任状：1名）  
議事：入会及び退会規程、寄付金取扱い規程、表彰規程、WDシンポジウム2023等

第5回 開催日時：2024/3/15（金）17:00–18:00 会場：zoomによるオンライン会議  
出席：6名（うち実参加(zoom)：4名、委任状：2名）  
議事：新入賛助会員、法人貢献表彰、2024年度理事等

20



## シンポジウム企画準備会

第1回 開催日時：2023/6/7（水）16:00-17:30

会場：国際教養大学 zoomによるハイブリッド会議

出席：5名（うち会場参加：3名、zoom参加：2名）

内容：シンポジウムテーマと登壇者候補の決定

第2回 開催日時：2023/7/8（土）20:00-21:00

会場：zoomによるオンライン会議

出席：4名

内容：シンポジウムプログラム案の決定と当日の企画

第3回 開催日時：2023/9/30（土）19:00-21:00

会場：zoomによるオンライン会議

出席：4名

内容：シンポジウムプログラムの決定と当日の企画

※詳細は9ページ

## シンポジウム反省会・報告会

開催日時：2023/11/1（水）17:30-22:00

会場：クリプトンホテル会議室

出席：20名

内容：シンポジウムの報告、反省と今後に向けての自由な意見交換

21

## 5. 収支報告

収益	寄付金	2,000,000		
	利息	3		
	<b>合計</b>	<b>2,000,003</b>		
費用			(事業費)	(管理費)
	業務委託費	715,000	715,000	0
	諸謝金	83,308	83,308	0
	印刷製本費	119,691	99,836	19,855
	会議費	153,860	117,560	36,300
	旅費交通費	435,610	433,790	1,820
	広告宣伝費	13,860	6,930	6,930
	接待交際費	93,416	93,416	0
	通信運搬費	22,110	0	22,110
	消耗品費	23,760	0	23,760
	支払手数料(事業)	5,555	4,950	605
	<b>合計</b>	<b>1,666,170</b>	<b>1,554,790</b>	<b>111,380</b>
<b>当期収支</b>		<b>333,833</b>		
前期繰越金		49,935		
<b>次期繰越正味財産額</b>		<b>383,768</b>		

22



## WD担当2024年度

1	シンポジウム企画・運営	高瀬	井関	
2	理系女子WS企画・運営	安田	森田	高瀬
3	ネットワーク（HP、SNS）	石塚	相京	鹿野
4	企業協賛(エコシステム構築含む)	森田	小浦	高瀬
5	若手科学者のためのオーラルヒストリー	高瀬		
6	事務局（会計含む）	辻		

## ウッドデッキ賞受賞者選考プロセス

## 1. 会員に受賞者候補推薦の依頼

募集のお知らせ：2024年2月23日

募集期間：2024年2月23日から2024年3月8日

対象者：2022年度及び2023年度に当法人の事業または管理に最も貢献した会員及び  
会員外の者各1名

推薦方法：メールの返信にて推薦する候補者を連絡

## 2. 受賞候補者のとりまとめ

## 1. で推薦された候補者をとりまとめ

2023年度候補者は3名

2022年度候補者は1名

## 3. 理事会にて審議・決定

理事会：2024年3月15日

推薦された候補者と推薦理由を付した結果をもとに審議し、以下の者を決定

2023年度：森田純恵

受賞理由：第2回シンポジウムの企画から実施運営、報告書作成に至るまで責任を持って行い、シンポジウムを成功に導いた。さらに、シンポジウムでの議論を秋田地域の学生に向けた活動に展開している。

2022年度：辻明子

受賞理由：ウッドデッキの設立初年度に、会計など困難な事務業務を一手に引き受け、緻密かつ正確に責任を持って成し遂げ、ウッドデッキ設立の成功に大きく貢献した。

## 4. 表彰状に記す受賞理由の確認

受賞者本人に受賞理由の確認：2024年4月9日

理事会にて受賞理由の確認：2024年4月26日

賞状文（案）

2023 年度ウッドデッキ賞

森田純恵殿

あなたは第 2 回ウッドデッキシンポジウムの企画から運営報告書公開までリーダーとしての役割を責任を持って果たしシンポジウムを成功に導きました。さらにシンポジウムでの議論を秋田地域の学生に向けた活動に展開しウッドデッキの発展に大きく貢献いたしました。

よってここにウッドデッキ賞を贈呈し今後さらに活躍されることを期待します。

2024 年 5 月 23 日

特定非営利活動法人ウッドデッキ  
代表理事 渡辺美代子

2022 年度ウッドデッキ賞

辻明子 殿

あなたはウッドデッキの設立初年度に会計をはじめとする困難な事務業務を緻密かつ正確に責任を持って成し遂げウッドデッキ設立の成功に大きく貢献いたしました。

よってここにウッドデッキ賞を贈呈し今後さらに活躍されることを期待します。

2024 年 5 月 23 日

特定非営利活動法人ウッドデッキ  
代表理事 渡辺美代子

トロフィーデザイン (案)



Wood Deck Award  
2023

Presented to  
Sumie Morita

May 23, 2024

